

和なごみ

阿南市立阿南第一中学校
人権教育・啓発通信
第8号 11月11日 発行
阿南第一中学校人権教育部
文責：中道 敬

一中のシンボルである銀杏並木も日々の寒さのせいで、どんどん黄色くなってきています。子どもたちも冬服を着ていますが、登下校時は寒そうな様子うかがえます。

明日は一中最大の人権イベントである「PTCでつくる人権のつどい」があります。各学級の普段の人権学習の様子と人権劇をご覧いただければと思います。

十川勝幸さんに講演していただきました

10月11日の後期始業式があった5、6校時に、徳島県ハンセン病支援協会会長の十川勝幸さんをお招きして、生徒対象にハンセン病についての講演をしていただきました。科学的な視点から、ハンセン病がどういう病気であるかということの説明された後、実際に十川さんがハンセン病回復者の方から伺ったお話などをしていただきました。人が人として扱われなかった、悲惨な過去の真実を聞き、子どもたちも正しい認識を持って、ハンセン病の問題やその他の人権課題についても取り組まなければいけないことを改めて感じることができました。



横見夢っ子クラブ 広島人権研修

秋休み期間中の10月8日に、横見夢っ子クラブに参加しているみなさんが、広島平和記念公園と平和記念資料館へ、毎年恒例の人権教育県外研修に行ってきました。資料館では、オバマ大統領が寄贈した折り鶴も展示されており、夏合宿でみんな考えた「平和」について、もう一度深く考えることができるよい機会になりました。

以下は、研修に参加した3年生の東條留奈さんの感想です。

まず最初に平和記念公園へ行って原爆ドームを見ました。原爆の破壊力のすさまじさを感じました。また、平和記念資料館では、原爆のせいで溶けて固まったピンを実際に触ったり、やけどをして皮膚がただれている人たちの写真を見ました。自分がその場にいたらと思うと、言葉が出ませんでした。

この研修で印象に残っているのは、オバマ大統領がおった折り鶴を実際に見たことと、大量に飾られている千羽鶴をリサイクルして、広島県内の卒業証書にしているということを教えていただいたことでした。平和の尊さを改めて感じた一日になりました。

阿南市人権教育協議会 中野島支部研究大会

10月16日に、中野島総合センター大ホールにて、阿南市人権教育協議会中野島支部研究大会が開催されました。本校からは、第1部の人権作文発表会で、2年生の上田遥愛さんが、学校や横見夢っ子クラブで学習した、「教科書無償運動」についての作文を発表しました。もらうのが当たり前だと思っていた教科書に込められた、いろんな想いを、知ることを通して、正しいと思うことを伝えられる人になりたいという、自身の強い思いを、大勢のみなさんの前で堂々と発表できました。



また、第2部では、すぎな子ども会に参加している3年生の増田海斗くん、今川弥来さん、山本優菜さんが結成した人権バンド「FREEDOM」のライブが開かれました。結成2ヶ月という短い中でしたが、自分たちも何か大切なことを歌に乗せて伝えることができれば、という熱い想いの中、必死に練習を重ねてきました。当日は、大きな拍手に迎えられ、和やかな雰囲気の中で、自分たちの満足のいく演奏を披露することができました。



泉八幡秋祭り 頑張りました！

いずみクラブに参加している生徒の皆さんは、10月15日の泉八幡神社で行われた秋祭りに、模擬店を出店しました。

高校生や地域の先輩と協力しながら、からあげやカップ麺、わたがしなどを作って、お祭りの運営のお手伝いを頑張りました。地域に根付く伝統あるお祭りに参加することで、自分たちもその伝統を引き継ぐことが大切なんだと実感できた、充実した一日になりました。



1年生 いのちと心の授業

10月25日に、本校多目的スペースにて、1年生を対象に、「いのちの保健室」という演題で、性教育講演会が開催されました。本校では毎年この時期に、1年生と3年生を対象にして、阿南共栄病院から助産師さんをお招きして、命の大切さや性についての正しい認識を持ってもらうことを目的に行っています。

今月は1年生を対象として、主に「命の大切さ」についてお話をしていただきました。スライドや動画を使って、分かりやすく丁寧に説明してください、子どもたちも真剣な様子で聞いていました。講演後の子どもたちの感想では、「子どもを産むことは重大な決断なので、私たちが生まれてきたことの素晴らしさを感じることができました。」という思いがたくさん書かれており、命の大切さにふれる貴重な時間となったようです。